

さざなみ VOL. 24



特集

3-D CT撮影装置を用いた手術 ～より安全な手術を目指して～

〈特集 3-D CT撮影装置を用いた手術〉
〈2016.10月～2017.1月の活動報告〉

〈地域連携だより〉
〈看護師レポート〉



Japanese
Red Cross Society

「特集」

『3-D CT撮影装置を用いた手術』 ～より安全な手術を目指して～

当院の整形外科では、幅広い整形疾患に対して質の高い診療を行う体制を整えています。

今回は、2016年12月より導入となった3-D CT撮影装置について整形外科の先生に聞きました。



3-D CTとナビゲーションを使用した脊椎手術風景

3-D CT撮影装置の利点とは

2016年12月に、当院手術室に術中CT撮影装置が導入されました。この装置は移動式で、Cアームを190度回転させながら画像を撮影したのち、画像処理を行って3次元CT画像を作成することができます。

この装置の主な利点は、

1. ナビゲーションシステムと連動させて、脊椎手術で、より安全で負担の少ない手術が可能となる
2. 骨折手術で、骨折部の整復状態、内固定金

属の設置状態が手術中に確認できることです。

3-D CTでより安全な手術を

当科では脊椎ナビゲーションシステムを3年前に導入し、安全な脊椎手術に取り組んで来ました。今回導入したCT撮影装置とナビゲーションシステムを連動させると、手術体位を取った患者さんの背骨の位置情報を、皮膚切開を開始する前に、ナビゲーションできるようになります。その結果、低侵襲手術（背中の筋肉へのダメージが少

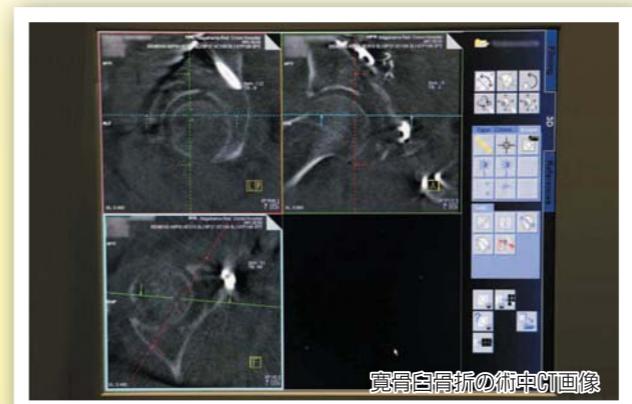
ない手術）がより安全に行うことができるようになりました。たとえば、腰椎すべり症の患者さんでは、固定術を行う事が多いのですが、内固定スクリューの挿入が、より安全で低侵襲に行う事ができます。

骨折手術などにも

骨折手術では、従来のレントゲン透視（平面像）では関節面の整復状態の確認には限界がありました。たとえば、かんこつけきゅう 寛骨臼骨折（股関節の骨折）では、関節面が凹面なので、レントゲン透視で関

節面の状態を確認するのは非常に困難でしたが、術中CT撮影を行うと関節面の状態がとてもよく把握できます。骨折部のよりよい整復、固定を行うことで、より後遺症の少ない骨折治療が可能になります。

当院整形外科では、脊椎外科、外傷外科、人工関節手術に特に力を入れて診療しています。今後もより安全で負担の少ない手術を目指して取り組んで参りますので、手足のしびれ、関節の痛みなどでお困りの方はいつでもご相談ください。



第二整形外科部長
高橋健志郎

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本リウマチ学会リウマチ専門医

第一整形外科部長
永原 亮一

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本脊髓病学会脊椎脊髄外科指導医

第一整形外科部副部長
白川 努

日本救急医学会救急科専門医

活動報告

10月 国内で初めて大学で開催されました

■リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016に参加／10月8日(土)、9日(日)

10月8日(土)・9日(日)、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016が滋賀医科大学で開催されました。リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティーアクションです。今回は学生主体で開催される、国内では初めてのカレッジリレーとなりました。イベントを通してたくさんの方と勇気と希望を分かち合い、充実した1日となりました。



10月 長浜で開催は今年で5年目

■ピンクリボン運動2016に参加／10月16日(日)

10月16日(日)さわやかな秋晴れの午後、豊公園噴水広場において開催されたピンクリボン運動2016に参加しました。ピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、早期発見、早期治療の重要性を伝えることを目的としています。触診モデル体験コーナーや乳がんについてのビデオ放映などの様々な啓発ブースが並び中、乳がんに関する啓発資料を訪れた方々に配布しました。今後もこの活動をきっかけとして少しでも多くの方が乳がんへの関心をもっていただければと思います。



11月 地域の医療機関の方々と交流を深めました

■第10回長浜赤十字病院地域医療意見交換会開催／11月12日(土)

11月12日(土)北びわこホテルグラツィエで地域医療意見交換会を開催しました。10回目を迎える今回、院内外から多くの方々に参加していただきました。第一部では熊本から災害現場で活動されたお二人を講師にお招きし、災害時の医療活動をテーマにご講演いただきました。第二部では地域の医療関係の方々と交流会を行いました。当院はこれからも地域の医療機関の方々と交流を深めより緊密な連携を行っていきたいと思います。



11月 湖北の災害拠点病院として

■大規模災害訓練を実施／11月19日(土)

11月19日(土)に平成28年度長浜赤十字病院の大規模災害訓練を実施しました。訓練は、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする地震により湖北地域で震度7を観測する訓練想定で、傷病者受入れ訓練を実施しました。看護学生や京都橘大学の学生の皆さんに協力をいただき、特殊メイクや傷病者演技をしていただきました。赤十字の使命として地域社会の安全と市民生活を守るため、日頃の取り組みを心がけていきます。



12月 ご協力ありがとうございました

■チャリティーバザーを開催／12月7日(水)

12月7日(水)病院本館の講堂にて、年末恒例のチャリティーバザーを開催しました。職員互助会や職員OB会・病院ボランティア様の方々から「漬け物」「漆器」「陶器」等の多くの品物をご提供いただきました。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。お陰様をもちまして71,822円の貴重な収益金となりました。これらの収益金は「NHK海外たすけあい」「各地の災害支援義援金」に分配させていただきました。赤十字の使命、人道援助として、今後とも皆様のご理解ご協力よろしくお願ひいたします。



12月 ホールに生演奏が響き渡りました

■クリスマスコンサートを開催／12月17日(土)

12月17日(土)エントランスホールで2016年クリスマスコンサートを開催しました。「サンタが街にやってくる」などのクリスマス定番曲や賛美歌に入院中の患者さまやご家族、面会の方など100名以上の方が聴き入っておられました。最後にみんなで「きよしこのよる」を合唱し、クリスマス独特の、華やかな中にも厳かな雰囲気を味わっていただきました。



12月 子ども聖歌隊が病棟に

■キャンドルサービスを実施／12月22日(木)

12月22日(木)毎年恒例のキャンドルサービスを実施しました。病棟の廊下の明かりが消され、医師や看護師、サンタクロースに扮した子ども聖歌隊が「きよしこのよる」を歌いながら進むと、廊下に出てこられた患者様から「かわいい」との歓声があがり、一緒にくちづさむ方もおられ、しばし聖夜の雰囲気を味わって頂けました。



1月 多職種で学習を行いました

■合同研修「足の傷の見分け方とケアを知ろう！」開催／1月28日(土)

足は第二の心臓と言われる程大事です。高齢になると、水虫等の感染症、巻爪等の変形、また糖尿病や動脈硬化症等が原因による血流障害、潰瘍・黒く腐る等の病気になりやすく、ケアが必要な人が多いです。日頃からお世話されている看護師や介護職の皆さんと一緒に、足の病気やケアのポイントについて学習しました。当院では今後も、症状が重くなる前に適切に医療に繋げができるように、多職種で学習していきたいと思います。



地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供する機関と連携しています。地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療を提供するために、病院ー診療所、病院ー病院間で診療情報の共有を行うびわ湖メティカルネットを活用しています。ただし、病状変化があった場合は今後も当院で対応します。急病の時は当院救命救急センターが対応します。

✓ 住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からの紹介状（診療情報提供書）を持参してのご来院をお願いします。また、病状が安定してきた患者さまには、紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック（かかりつけ医）をご紹介させていただいている。



岩本整形外科

岩本先生からのメッセージ

父の代に湖北エリアで最初の整形外科の開業以来40年近くになります。私の専門はペインクリニックで痛みのある疾患が対象となります。しかし、地域の診療所は広く浅く対応が求められるので在宅や応診も含めて長浜日赤と綿密な連携をとっています。



《医 師》 岩本 貴志
《診 療 科》 整形外科、ペインクリニック、リウマチ科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和ケア
《住 所》 長浜市大戌亥町738-4
《電 話》 0749-64-1866
《往診診療》 有 《訪問診療》 有
《U R L》 <http://www.i-pain.com/>

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～11:30	○	○	○	×	○	○
午後	16:00～18:30	○	○	○	×	○	×

※祝日は休診

地域包括ケアセンターいぶき

畠野先生からのメッセージ

当センターは、地域の人々が安心して生活が続けられることを目的に平成18年にオープンしました。診療所（在宅療養支援診療所）、訪問看護、リハビリテーション、居宅介護支援事業所、デイケア（通所リハ）、介護老人保健施設（老健60床）の医療と介護を併せもつスタッフ70余名の複合施設です。子どもから高齢者まで、病気の程度に関わらず診せていただきます。



《医 師》 畠野 秀樹、臼井 恒仁
《診 療 科》 内科、小児科、循環器科、消化器科、リハビリテーション科
《住 所》 米原市春照58-1
《電 話》 0749-58-1222
《往診診療》 有 《訪問診療》 有
《U R L》 <http://www.cc-ibuki.jp>

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	○	○	×
午後	16:30～18:30	○	○	○	×	○	×

医療法人株英会 佐々木クリニック

佐々木先生からのメッセージ

京大医学部を卒業後、8年前に長浜で開業しました。CT、エコー、経鼻胃カメラ等を駆使し、総合内科的な外来をしています。第2、4日曜日も診療しています。病院の何科にかかれればよいか分からぬ患者さんは是非お越し下さい。



《医 師》 佐々木 慶英
《診 療 科》 内科、放射線科
《住 所》 長浜市小堀町80-1
《電 話》 0749-53-1701
《往診診療》 無 《訪問診療》 無
《U R L》 <http://www.kohokuishikai.jp/isikai/iin/sasaki/sasaki.html>

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:30	○	○	×	○	○	○	○
午後	16:30～18:45	○	○	×	○	○	×	×

※第1、第3、第5日曜日、祝日は休診

川瀬歯科医院

川瀬先生からのメッセージ

平成3年から湖の美しいこの町にお世話になっています。小さかったお子さんが、立派に成長されて、再会するのが楽しみです。歯医者はちょっと苦手という方にも、お口の健康を通して、より健やかで心地よい日常が送っていただけるようなサポートを目指しています。



《医 師》 川瀬 英嗣
《診 療 科》 歯科、小児歯科
《住 所》 長浜市富田町487-1
《電 話》 0749-72-4108
《往診診療》 有 《訪問診療》 無

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	×	○	○
午後	14:00～18:30	○	○	○	×	○	○

看護師レポート

～当院の精神科リエゾンチームを紹介します～ 9西病棟 看護係長 佐伯 興平

精神科リエゾンチームとは？

精神科リエゾンチームとは、「専門性を持った多職種が協働し、身体の病気を抱える患者さんのこころのケアを考える」医療チームのことです。

もともとリエゾン（Liaison）という言葉は、「つなぐ」「連携する」「橋渡しをする」という意味があり、その活動には大きく3つの役割があります。

1. 表裏の関係にある心身を両側面からとらえ、こころと身体のバランスを取り戻すための直接的な支援をする。
2. 精神看護の知識や技術を一般科（内科・外科）の看護に適応し、心身の看護が提供されるように「つなぐ」。
3. 患者さんや家族、そして医療者がつながり、チーム医療を通して円滑に全人的に医療が提供されるよう環境を整える。

以上のような役割を遂行する多職種連携医療チームです。



どのような患者さんが対象になりますか？

主に、せん妄やうつ状態、不安、不眠、昼夜逆転、意欲低下、活動性の低下、感情の浮き沈みが激しい、薬剤の調整が必要な患者さんなどが対象です。

どのような活動ですか？

精神科リエゾンチームの活動は、精神科医・認定看護師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床心理士・精神保健福祉士の多職種によるチームメンバーでサポートを行い、患者さんの心身のバランスを整えることを目的にしています。

毎週金曜日、各病棟からこころと身体の両方のケアが必要と判断された患者さんの報告があります。その報告を受けたりエゾンチームは、精神科医を交え、患者さん自身が困っていることを聞き出して解決に向け活動します。

具体的には、専門的に患者さんのケア方法、スタッフからの相談に応じ、問題や疑問の解決などをおこないます。多職種を交えることで、それぞれの専門性に特化したアドバイスがおこなえ、各病棟スタッフのケアの質が向上し、安全・安心な医療が提供出来るように支援しています。また、必要と判断された場合は、精神神経科の治療に「つなぐ」といった専門医療も提供しています。

今回の表紙

長浜市総合防災訓練

今回の表紙は長浜市総合防災訓練に参加した救護班の写真です。

写真は救護所からの搬送について他の医療機関の方と一緒に検討を行っている所です。

当院は、日頃から災害に備えるべく他の訓練等にも積極的に参画しております。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、安全で高度な医療を提供します
2. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
3. 救急医療を充実します
4. 災害救護、国際救援に積極的に参加します
5. 最善の医療を提供するため常に研修・研鑽に努めます

患者さまの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. 医療上の情報・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
3. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
4. プライバシーが保護される権利
5. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院